



12/10(日)人権週間特別講演会  
外国人との交流会

11(月)

12(火)

13(水)

14(木)おかげいち

15(金)

16(土)

17(日)カプトガニ駅伝大会

18(月)

19(火)

20(水)

21(木)

22(金)冬至

23(土)天皇誕生日

24(日)

25(月)

26(火)

27(水)

28(木)官公庁仕事納め

29(金)

30(土)

31(日)大晦日

1/1(月)元旦

2(火)

3(水)

4(木)官公庁仕事始め

5(金)

6(土)

7(日)成人式

8(月)成人の日

9(火)



岡山ビジネスカレッジ1年  
桑田 彩花さん

笠岡を卓球の盛んなまちに！

11月30日に東京で開催された第22回全国専門学校卓球選手権大会のシングルス、ダブルス部門に出場した桑田さんは、初めての全国大会に向け「中学1年生で卓球を始め、今まで積み重ねてきたことを出し切りたい。」との言葉通り全力で試合に臨みました。

卓球は、「対戦相手との距離が近いので、相手選手の表情や動きを見て心理を読み合う駆け引きが楽しいです。」

現在、動物看護師を目指して勉強中の桑田さん。卒業後も卓球は続ける予定で、「将来、笠岡を卓球で有名なまちにしたい。卓球をもっと広げていきたい。」と笑顔で話してくれました。



春日神社石鳥居  
岡山県指定重要文化財

小平井の春日神社参道に立つ石鳥居は、天文五年（一五三六）、渡辺本之允正が寄進したことを記す銘をもつ、室町時代末期の石鳥居です。花崗閃緑岩製で、二本の太

い円柱と各部分とも当初のものが揃っており、全体にこの時代の様式をよく表しています。高さは中央で三、五メートルあります。「春日宮」と刻んだ扁額に共石で造り出された額束の裏面には「領主渡辺本之允正 天文五丙申年九月」と刻まれています。春日神社は、もと小平井村の村社で、建武二年（一三三五）三月、笠岡の領主陶山義高が奈良春日神社の分霊を奉祀したのにはじまるといわれています。

社伝によると、天文元年（一五三二）備後国沼隈郡山田庄（現在の福山市熊野町）の渡辺本之允正が小平井村の領主となり、天文四年（一五三五）春日神社を再建して山林三反歩余を寄附し、翌五年九月には石鳥居一基を奉納したということです。社殿はその後、宝永四年（一七〇七）と明治十九年（一八八六）に改築されましたが、石鳥居は今も残っています。

歴史を訪ねて  
笠岡市の文化財